

B-14

出展団体名	中国四国地域農林水産・食品先進技術協議会	
発表者所属	岡山大学農学部	
発表者氏名	梶田正治	
発表タイトル	「防根給水ひも」によるトマトの簡易栽培法	
ねらい	<input type="checkbox"/> ビジネスパートナー探し	
	<input type="checkbox"/> 共同研究パートナー探し	
	<input type="checkbox"/> 共同製品開発のパートナー探し	
	<input type="checkbox"/> 所有技術シーズの顧客（ライセンス）探し	
	<input type="checkbox"/> その他（ ）具体的に	
キーワード	①防根給水ひも	②養水分利用効率
	③トマト	④
要 旨（アピールポイント）		
<p>従来から、「ひも」を用いた底面給水法は、栽培期間が短かく根が少ない花類、特にシクラメン、ガーベラなどの鉢栽培に適用されている。しかし、トマトなど果菜類は、栽培期間が長く、根は成長するにつれて多くなり毛管紐内に入り込み、材の毛管作用を阻害するばかりでなく、給水管にまで進入する。このため、これまで紐給水法による野菜栽培は不可能と考えられてきた。本技術は、この毛管紐を防根透水材で完全に封入することにより、上述の問題点を解決し、同時に適度な水ストレスを常時付与することで、トマト果実を長期にわたって栽培することが可能になるというものである。このことは、また、栽培装置外には養分、水を一切排出しない点で養水分利用効率の究極を追求することにもなる。正に、環境に優しい農法の一つと位置づけられる。現在、「ひも」の改良と同時に、家庭用、農業生産用の栽培装置の開発も行っている。</p>		
特記欄	「防根給水ひも」については特許出願中（特願2006-20088 平成18年1月31日付） メロンなど広く果菜類に適用できる。	